

# 2023年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（秋期）

民事法学・公法学専攻（英語）

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

以下の英文を和訳しなさい。イタリックによる強調は無視してよい。

(出典：Adrian Vermeule, "Constitutional Amendments and the Constitutional Common Law"  
(University of Chicago Public Law & Legal Theory Working Paper No. 73, 2004), pp.1-3.)

答案用紙別紙

2023 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（秋期）

政治学専攻（英語）

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

出典: Ulrich Beck, 'Risk Society Revisited: Theory, Politics and Research Programmes', in Barbara Adam, Ulrich Beck and Joost Van Loon(eds.), *The Risk Society and Beyond*, 2000, Sage, pp. 215-6.

答案用紙別紙

# 2023年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（秋期）

政治学専攻（フランス語）

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

次のフランス語の文章を日本語に訳しなさい。

(出典: Lucien Jaume, *L'Éternel défi: L'État et les religions en France des origines à nos jours*, Tallandier, 2022, pp. 127-128)

答案用紙別紙

# 2023 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（秋期）

共 通（朝鮮語）

|          |  |        |  |
|----------|--|--------|--|
| 受験<br>番号 |  | 氏<br>名 |  |
|----------|--|--------|--|

次の文章 1 と 2 を両方とも日本語に翻訳しなさい。

1.

出典：「労働新聞」2022 年 6 月 12 日付

2.

出典：「労働新聞」2022 年 6 月 14 日付

答案用紙別紙

2023年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（秋期）

共通（日本語）

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

次の文章を読み、各問題に答えなさい。

- 問題一 傍線部①に関して、その理由として著者が文章中に示している内容を要約しなさい（10行程度）。
- 問題二 傍線部②に関して、①「自己中心的世界観」の内容を説明しなさい。また、②のどのような内容が「自己中心」と称されている理由について、「非自己中心」な世界観としてどのようなものがあろうかを示して両者を対比しつつ、考察しなさい。③④を合わせて五行程度。
- 問題三 傍線部③に関して、モンテスキューが『法の精神』で決断裁判について詳しく論じた理由を説明しなさい（五行程度）。